

宮崎県の死亡野鳥からも 高病原性鳥インフルエンザウイルスを検出！！

宮崎県日南市で死亡したヒドリガモから、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出されました。

今シーズン、野鳥国内2例目となる高病原性鳥インフルエンザ確認事例です。

すでに国内の広い範囲にウイルスを持った野鳥が飛来しています。

野生動物侵入防止や消毒などの発生予防対策を徹底するとともに、毎日の健康観察で異状を認めた場合は、直ちに通報してください。

<経緯>

10月22日（水）

- 簡易検査でA型鳥インフルエンザウイルス陽性

10月24日（金）

- 遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）と確定

※北海道根室市でも疑い事例の検査中



宮崎県日南市
野鳥国内2例目
ヒドリガモ死亡個体

◆現在の国内野鳥のHPAI発生状況は環境省HP (https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)を参照

【発生予防対策のポイント】

野鳥等の野生動物の
家きん舎への侵入防止
(防鳥ネットなど)



小型の野生動物の侵入防止



野生動物対策

農場に入る車両の徹底した消毒



家きん舎内に入る
人・物の徹底した消毒



人・物・車両対策

- ・衛生管理区域内に入る車両の消毒！
- ・野生動物侵入防止対策の徹底！
- ・鶏舎出入口や周辺の消毒徹底！
- ・対策の点検・補修・改善！
- ・毎日の健康観察！
- ・早期発見、早期通報！

京都府中丹家畜保健衛生所

福岡山市字半田371-2

☎：0773-25-1860

*休日・夜間は転送されます